

2024年10月11日(金)~14日(月) 3泊4日

北アルプス・槍ヶ岳・双六岳山行

西鎌尾根テント泊縦走

<参加メンバー> 3名(男性1名、女性2名)

<天候> 1日目 晴れ 2日目 晴れ (夜)曇・雪  
3日目 晴れ 4日目 晴れ

### < 山行の概要 >

今年の夏山は台風などの影響で、山行が中止になる事が多かった。今季最後の北アルプスに行きたい。紅葉はもう終わりに近かったが秋山山行を計画した。

1日目、関西から岐阜県まで車で移動、新穂高登山口から槍平テント場を目指す。秋とは思えぬほど暑く重い荷物を背負い歩くと汗がじわっと出る。歩き始めは林道歩き。他の登山者とはほとんどすれ違うこともなく静かな山歩き。白出沢出合い近くになると、林道が終点となり右俣谷を行く。途中で見たアルパインクライミングの聖地「滝谷」の荒々しい岩壁が印象的だった。

2日目は槍ヶ岳を目指す。出だしは樹林帯を歩き次第に開けてくる。穂高連峰、雄大な笠ヶ岳が現れる。千丈分岐点から飛騨乗越まではジグザグの急登が続く。きつい登りを上がり切ると憧れだった槍ヶ岳が登場する。槍ヶ岳山荘でテントを張り、槍ヶ岳の頂上を目指す。頂上までは梯子等で安全性が保たれていて、三点支持を守り、岩場を登る。恐怖心などはなく、楽しさが勝っていた。登っている最中はガスがかかったり、晴れたりを繰り返していた。山頂での大パノラマを信じていたが、最後の長い梯子を登り切り、山頂へ立つと穂高連峰方面は真白なガスで覆われていた。残念な展望だったが、ピークを踏めただけでも大満足だった。下山すると霰が降り、3000m級の山での初めての経験だった。折角だからとこの時間を楽しむことにした。夜には雪に変わり積もりだとしても寒かった。

3日目、目が覚めて、ヘッドライトを点けるとキラキラしている。テントとの中が凍っているのだ…。雪は止み天気は回復していた。槍ヶ岳の朝日は立派な常念越しに昇り、雪景色、雲海、富士山、劔岳と贅沢な景色の朝の始まりだったが、テントを撤収する手は冷たかった。この日は、双六岳を目指し西鎌尾根を行く。初めは雪の積もった岩場を下ったが次第に足元の雪もなくなっていった。道が狭かったり鎖場があったり振り返ると槍の穂先が見えたりと楽しい稜線歩き。槍ヶ岳の迫力ある姿も目に焼き付け縦沢岳山頂へ登り双六小屋へと着いた。ここからは、1人で双六岳を目指す。(他2名はビールで乾杯) 登り始めからガスがかかり始め、山頂へ行っても展望は望めないかも…。でも、どうしてもピークを踏みたい。急いで双六岳山頂へ行くもやっぱり、ガスが上がってきて、またしても景色残念だった。

4日目最終日。今日も好天に恵まれて双六小屋のテント場を後にする。途中で出会った中高年のハイカーの方が北アルプスで4日間も良い天気が続くのは稀だそうで「神様からのサプライズだね」と言っていたが本当にそうだった！鏡平山荘までの稜線歩きは槍ヶ岳、穂高岳連峰、北穂→大キレット、笠ヶ岳の大展望だった。この景色を目に焼き付け鏡平山荘へ到着。鏡池では水面に映る槍・穂高連峰を静観した。神秘的な鏡池の景色を後にして、あとは良く整備された小池新道をひたすら下り秩父沢で休憩して、また黙々と下る。小池新道登山口を進み、わさび平小屋へ到着し暫く休憩した。ここでは、冷やしたトマトやキュウリ、バナナや飲み物など売っていた。Kさんはトマトを食べ「冷たくて美味しいー！」と言っていた。後はもうひと頑張り！長い林道がまだまだ続く、圧倒的な存在を放っていた笠ヶ岳に直登する笠新道登山口を通り緩やかな林道をひたすら下っていくとついに着いた。時計を確認すると午後12時05分頃だった新穂高温泉へと無事に帰ってきた。

HM (記)

### <コースタイム>

10月11日(金)	10月12日(土)	10月13日(日)	10月14日(月)
新穂高登山口 12:00	槍平小屋テント場 06:35	槍ヶ岳山荘テント場 7:15	双六小屋テント場 6:00
穂高平小屋 13:00	飛騨乗越 10:50	槍ヶ岳山荘 7:30	弓折乗越 7:15
柳谷 13:25	槍ヶ岳山荘テント場 11:05	千丈乗越 8:40	鏡平山荘 8:00
白出沢口 13:50	槍ヶ岳山荘 11:11	左俣岳 10:20	小池新道登山口 10:35
白出沢 14:00	槍ヶ岳テント場 11:25	硫黄乗越 11:00	わさび平小屋 10:55
滝谷避難小屋 15:30	(テント設営・昼食) 12:40	縦沢岳 12:00	笠新道登山口 11:20
槍平小屋テント場 16:40	槍ヶ岳山荘 12:45	双六小屋 12:40	新穂高温泉 12:05
	槍ヶ岳 13:08	双六岳 13:30	
	槍ヶ岳山荘テント場 13:50	双六岳テント場 14:05	

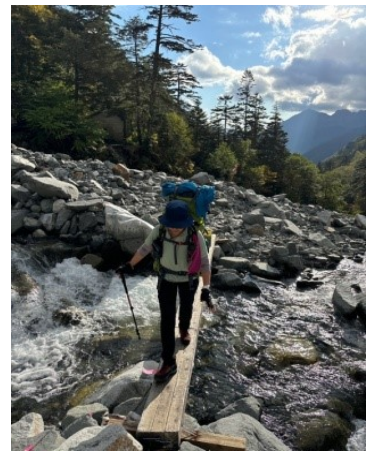




出発



穂高平小屋



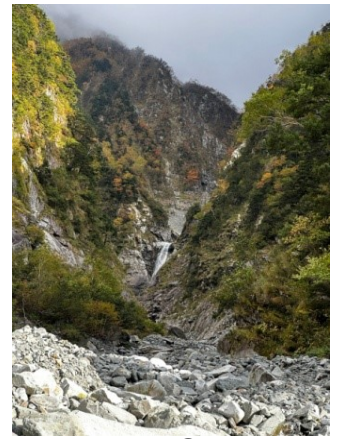
木橋慎重に①



木橋慎重に②



ちび谷



滝谷①



滝谷②



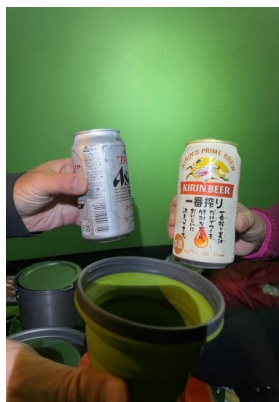
滝谷避難小屋



槍平小屋



晩御飯の熱々のお鍋



お疲れ様です。乾杯！



Kさん手作りの焼き網



磯辺焼き



幻想的でした☆彡



海拔 2800m





飛騨乗越



憧れの槍ヶ岳



槍ヶ岳をバックに



クライマー①



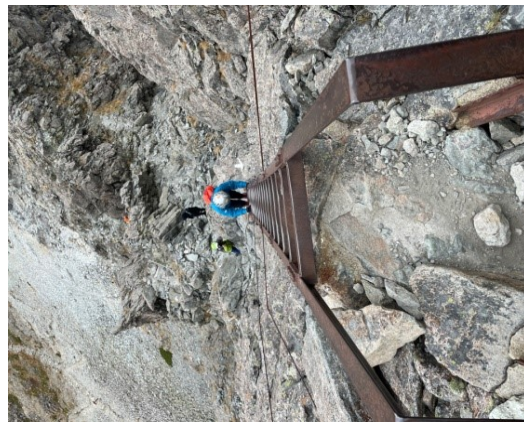
クライマー②



クライマー③



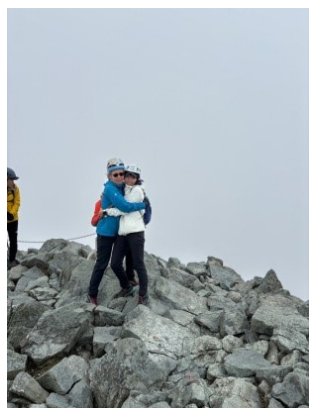
クライマー④



クライマー⑤



小槍



喜ぶ二人



槍ヶ岳の山頂



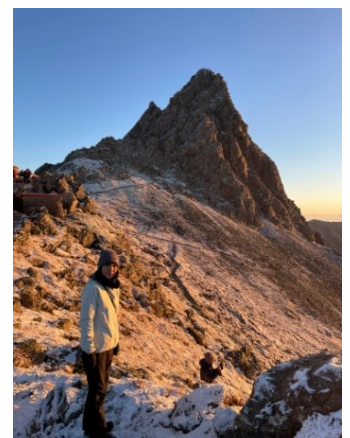
雪降るテント場



エスパース



日の出



雪と槍





出発の朝



滑らぬように



景色①



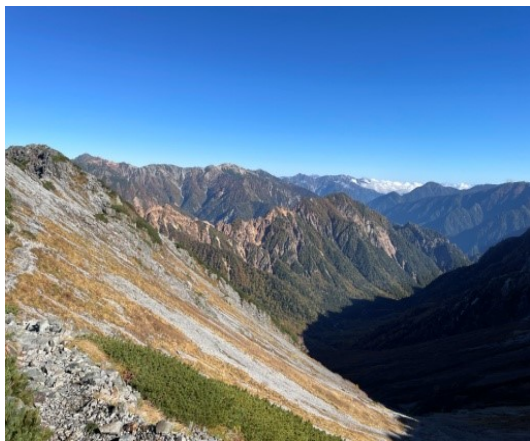
景色②



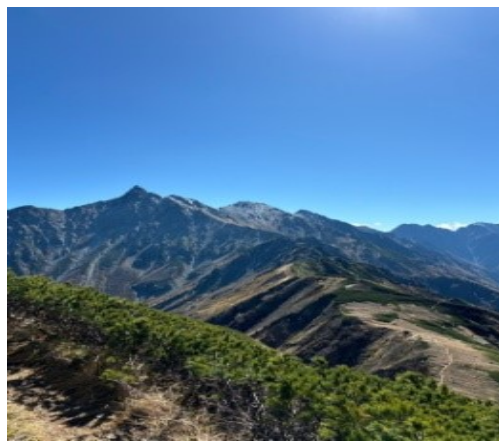
槍ヶ岳さようなら



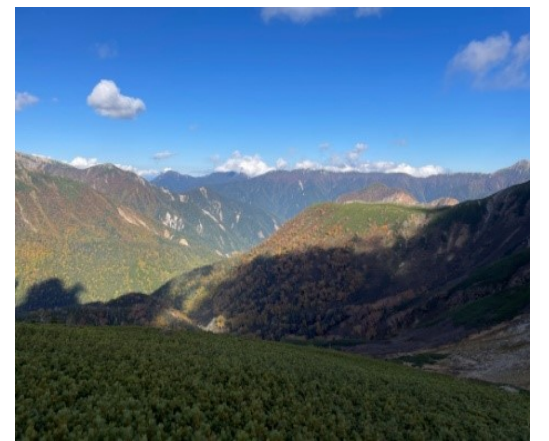
景色ガス



景色③



稜線歩き



景色④



景色⑤



景色⑥



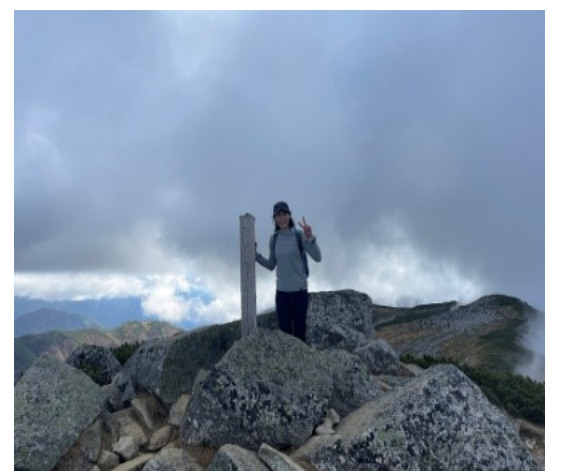
眼下に双六小屋



双六小屋



双六小屋テント場



ソロで双六岳





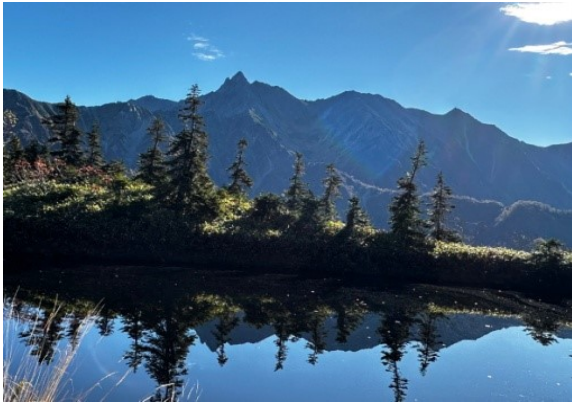
岩場歩き



天気いいね！弓折乗越



鏡平山荘



水面に映る①



水面に映る②



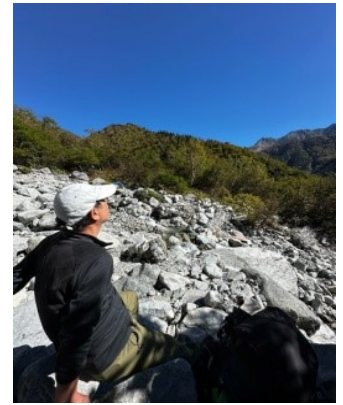
水面に映る③



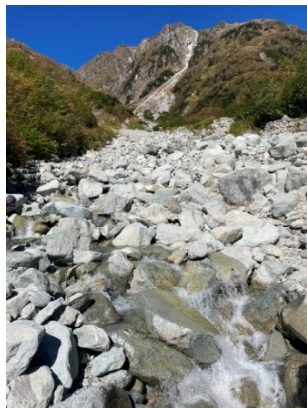
ハイ、ヤーリ♪



ハイチーズ！



休憩



水が冷たい



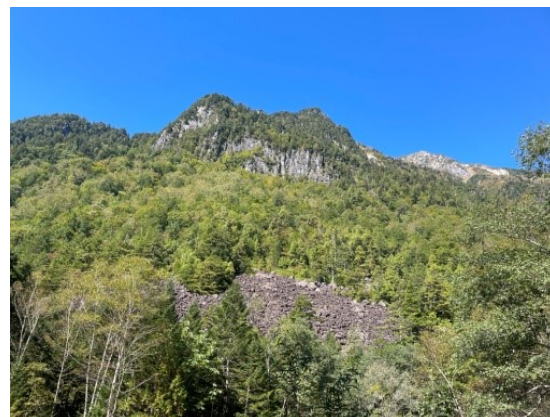
わさび平小屋



冷えてます



風穴



雲一つない空で



無事下山